（別添資料１）

事業所名　放課後デイサービス　BLUESTARあおいほし

放課後デイサービスプログラム

作成日　令和７ 年　5 月　5 日

法人（事業所）理念	一人ひとりがかけがえのない存在として生きること										
支援方針	一人ひとりがあるがままの姿を受け入れて、子どもの権利と利益を大切にして職員も児童も共に発達支援を目指す。										
営業時間	学校日	10	時	0	分から	19 時	0	分まで	送迎実施の有無	(あり)	なし
	学校休業日	9	時	0	分から	18 時	0	分まで			

支援内容		
本人支援	健康・生活	健康状態の把握：自分の体の異常（痛み、かゆみなど通常と異なる状態）について両親などに伝えることが出来るようになる。 【主活動内容】基本的生活習慣のスキルアップを支援します。（身辺処理能力の向上、整容、食事の自立、排泄の自立、衣服脱着の自立） 自分の身体と向き合いながら、道具を使う、どのようなサポートがあれば達成できるかを体験を通して考えていきます。 具体的には、整容、お掃除、クッキングなどを年齢に見合った活動を行います。食べたら歯磨きをするなどを習慣とし、お掃除では雑巾や箒を使う事を学びます。 クッキングでは、調理道具を使って、混ぜる、切る、煮る、盛り付けるなどを体験を通して学んでいきます。その内容等について個別支援計画に反映していきます。
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な獲得 【外遊びや音楽教室、リズム遊主活動内容】感覚の特性をつかみながら、姿勢と運動、動作の基本的技能の向上を目指していきます。 外遊び、季節の工作、足湯などのリラクゼーション、室内ゲームを通して、身体を動かすことで運動機能の拡大を図り、 できた、気持ちよかった、楽しかったなど五感を刺激することで活動の幅を広げていきます。その内容について個別支援計画に反映していきます。
	認知・行動	認知の発達と行動の習得　【主活動内容】日々の活動を通して、一人ひとりの身体特性や行動特性を理解していきます。 活動プログラムでは、個別の活動と集団の活動での参加状況を見極めながら、個の能力を拡大 できることに着目しながら、集団への参加にも支援していきます。 ご家族や学校との連携を図りながら、支援内容の評価、検討をしていきます。その内容について個別支援計画に反映していきます。
	言語 コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 【主活動内容】挨拶の中で名前の確認を行なったり、リズム遊びでは、歌を歌うことで発声に導いたり、来所時に自分の名前や時刻、体温を書きます。 絵カードを使い、物の名前や人の名前を覚えたり、発声することで記憶に結び付け たり、大きな声を出すこと、笑うことで感情を表出させていきます。 コミュニケーションの方法を個別で検討していき、支援内容の評価、検討をしていきます。その内容について個別支援計画に反映していきます。
	人間関係 社会性	他者との関わりの形成、仲間づくりと集団への参加 【主活動内容】外遊び、室内ゲーム、リラクゼーション等を通して、『遊び』から社会性、人間関係を構築していきます。 SST訓練として“順番交代”“役割”“ルールを守る”“指示に沿った行動をする”など、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。 その内容について個別支援計画に反映していきます。

家族支援	ご家族との情報交換を行い、支援内容について確認していきます。ご家族の思いに寄り添った支援を検討し、その内容について個別支援計画に反映していきます。	移行支援	18才以降の支援サービスに支障をないように途切れの無いサービスの継続を支援する
地域支援・地域連携	地域で障害児が安心して暮らせる環境作りを目指していく	職員の質の向上	放課後等デイサービスガイドライン等の手引き書を使っての学習会、勉強会、セルフチェックシートの入力チェック、支援会議にて支援内容の評価や修正を行う。
主な行事等	お誕生会、遠足、楽器の演奏、ビデオ鑑賞会、七夕まつり、お買い物体験、プール、クリスマス会、制作活動、クリスマス会、ハロウィン等のイベント体験		